

海外留学 ガイドブック

Osaka Kyoiku University
Study Abroad Guide

大阪教育大学から、
世界へ飛び立つ。



国立大学法人
大阪教育大学

“グローバルセンター教員からのメッセージ”

ある学生が日本から海外の大学に、専門の勉強をするために留学に行ったときの話です。留学先で知り合った日本人の学生とプラットホームで日本語で話していた時、現地の人が「なぜこの国の言語で話さないんだ?」と詰問調で尋ねてきました。その学生は「私たちは自分の専門を勉強しに来ていて、日本人同士日本語で議論している。何が問題か?」と返しました。時を遡って、この学生が語学力向上を目指して同じ国で語学研修に参加した時、目標が語学能力向上なのだから日本人同士でも日本語を使わないようにしよう!と友人と決めて、行き帰りのバスや遊びに行った時も日本語でのコミュニケーションは全く取りませんでした。

上の話は留学に行ったときに何語でコミュニケーションを取るのか?という表面的な話ではなく、留学の明確な目的を持つことの重要性を見てとってほしいのです。海外が近いものになったとはいえ、留学にはたくさんのリソースが必要です。そして留学は行ってしまえばあっという間。気がつけばもうすぐ帰国...というのは、留学経験のある人なら多くが共通して持つ感覚ではないでしょうか。

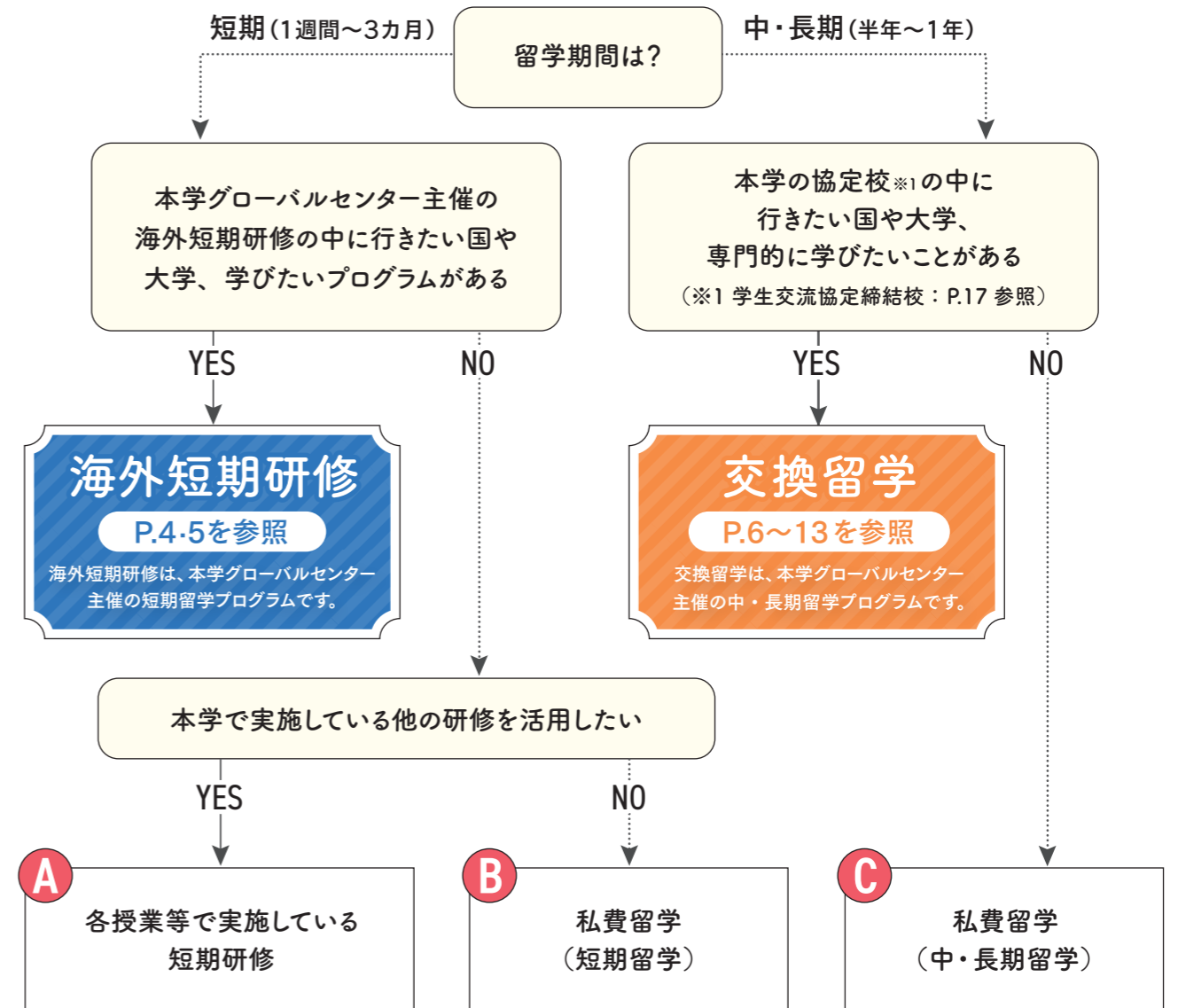
海外を体験することで、言語力・異文化理解力を高め、人間として大きく成長する。その通りではありますが、漫然と時間を過ごして得られるものは多くありません。専門の勉強のための留学であるがゆえに(その国の言語を十分使えることは前提として)その場面で使う言語について強く主張できたのも、また、語学能力向上が目標だから日本語を使わなかったのも、明確な目的意識があったからです。このような留学はきっと多くのものをもたらしてくれます。

大阪教育大学は皆さんの目的に応じた多くの海外体験の機会を用意しています。
さあ、皆さんはなぜ留学したいですか?その目的に合う留学先はどこですか?

目次 CONTENTS

1.	留学フローチャート	3
2-1.	海外短期研修【概要・Q&Aコーナー】	4
2-2.	海外短期研修【体験談】	5
3-1.	交換留学【概要・スケジュール】	6
3-2.	交換留学【私の交換留学ロードマップ】	8
3-3.	交換留学【体験談】	10
3-4.	交換留学【Q&Aコーナー】	12
4-1.	留学に関すること【奨学金】	14
4-2.	留学に関すること【語学試験】	15
4-3.	留学に関すること【学籍・単位/教育実習/就職活動】	16
5.	学生交流協定校	17
6.	学内でできる国際交流	18

1 留学フローチャート



A 本学では授業等を通して、様々な短期研修を実施しています。詳しくは、各担当教員に確認してください。

B 私費による短期留学には、留学エージェントや大学生協が主催している語学留学の他、インターンシップやボランティア等様々あります。信頼できる団体を選んで留学計画を立ててください。留学が決まったら、安全管理のため、学生支援課に渡航届を必ず提出してください。

C 私費による中・長期留学には、留学エージェントを通じた留学や自己手配での留学等があります。語学留学の他、1学期~1年間の学部留学、インターンシップやワーキングホリデーに挑戦する学生もいます。信頼できる団体を選んで留学計画を立ててください。留学が決まったら、安全管理のため、学生支援課に渡航届を必ず提出してください。

※私費留学(B・C)については各自情報収集を行ってください。

認定留学 (JSAFプログラム)

認定留学とは、本学がパートナーシップ協定を締結している JSAF (日本スタディ・アブロード・ファンデーション) を通して学部留学することで、留学先で取得した単位を本学の単位として申請することができる留学です。(※必ず単位が認定されるわけではありません)。渡航前に学内での手続きが必要ですのでグローバルセンター Web ページを確認の上、関心のある人は、事前に必ずグローバルセンターに問い合わせてください。



グローバルセンター Web ページ (認定留学)

URL <https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/study-abroad/certified-study-abroad-system/>



JSAF Web ページ

URL <https://japanstudyabroad.org/>

2-1 海外短期研修

ココが知りたい! 概要・Q&Aコーナー



グローバルセンター Web ページ (海外短期研修)

GLC に気軽に 行ってみよう!



URL <https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/study-abroad/training/>

※ GLC… P.18 参照

海外短期研修とは

大阪教育大学では、海外の協定校での語学研修・文化研修・観察実習を実施しています。夏休みや春休みを利用して1~5週間ほど現地に滞在し、語学や異文化を学びます。様々な内容のプログラムが用意されていますので、きっと素晴らしい体験ができるはずです。研修先や内容は年度によって変わりますので、最新情報を Live Campus U、グローバルセンター Web ページ、外国語学習支援ルーム (GLC) 掲示板で確認してください。

海外短期研修の概要	
研修時期	前期(夏季)プログラム: 8月~9月、後期(春季)プログラム: 2月~3月
主な研修先	カナダ、アメリカ、オーストラリア、フランス、タイ、シンガポール、台湾等
期間	1~5週間程度
内容	語学研修、文化研修、観察実習
金額	30万円~120万円程度(航空券・宿泊費含む)
対象者	学部・大学院・専攻科に所属する正規学生(留学生含む)
語学力・成績要件	一部の研修を除き不問
スケジュール 【前期(夏季)プログラムの場合】	4月上旬…………… 募集説明会
	4月…………… 申込み(一部の後期プログラムも募集開始)
	5月中旬…………… 参加者決定
	6月~7月…………… 諸手続き(オリエンテーション・海外留学危機管理セミナーへの参加、危機管理サポート・海外旅行保険・奨学金の申請等)
スケジュール 【後期(春季)プログラムの場合】	10月上旬…………… 募集説明会
	10月…………… 申込み
	11月上旬…………… 参加者決定
	11月~1月…………… 諸手続き(オリエンテーション・海外留学危機管理セミナーへの参加、危機管理サポート・海外旅行保険・奨学金の申請等)

※スケジュールは変更する場合があります。

ココが知りたい! Q & A コーナー

Q1 海外短期研修に参加するタイミングはいつがいいですか。

A1 比較的学部2・3回生の参加者が多い傾向にありますが、自身の状況に合わせて参加してください。

Q3 宿泊先は選べますか。

A3 研修によって、ホームステイ、大学寮、ホテル等、宿泊先が決まっています。

Q4 留学生は参加できますか。

A4 正規留学生なら参加することができます。ただし、国籍によって渡航先のビザが必要になる場合がありますので注意してください。

Q2 参加するために選考や成績・語学力の基準はありますか。

A2 例年、成績や語学力による選考はありません。ただし、研修によっては一定の語学力や「教育実習を終了していること」を参加条件としている研修もあります。最新情報を確認の上、申し込んでください。

Q5 費用はどのくらいですか。

A5 研修や期間によって異なりますが、一般的にアジア圏は欧米圏よりも参加費が安い傾向にあります。研修によっては、日本学生支援機構(JASSO)の返済不要の奨学金を受給できるものもあり(成績及び家計要件あり)、外部の短期留学よりも費用が抑えられます。詳しくは本ガイドブックP.14をご覧ください。

※各質問について、研修の詳細はグローバルセンターWebページで確認できます。応募する際は、必ず最新情報を確認してください。

2-2 海外短期研修

体験談

F.Aさん

留学先: タイ / チェンマイ大学
期間: 2024年9月1日~9月22日(22日間)

研修名: タイ チェンマイ大学 英語・SDGs・日本語教育研修 宿泊先: ホテル
所属: 学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース 費用: 約55万円 奨学金: 受給なし

私は大学入学まで、海外に行くことには興味はありましたが、留学はそこまで意識したことはありませんでした。そんな中、高校でお世話になった先生から「学生のうちに大学を通して海外に行って経験を積むと良い。それに社会科専攻なんだからどんどん現地に行って学びなさい。」という助言をいただき、興味のあるSDGsを学べるチェンマイ大学の研修に参加することを決意しました。プログラムを1回生の時に見つけてから、参加費用を1年間かけてアルバイト代でコツコツと貯めて、2回生で参加することができました。

タイの街並みは電線が垂れ下がっていたり、道路の舗装が不十分だったりして、雨上がりに歩くのが不便でした。さらに、胃の痛みを感じるほど辛いタイ料理を味わったり、同性愛が当たり前であったりなどのカルチャーショックも、3週間の生活のなかで体験することができました。また、英語話者でない者同士が英語でコミュニケーションを取ることにしばしば苦労しましたが、フレンドリーなタイ人ともっと仲良くなりたくて、積極的に会話を続けていくことで、次第に英語のスピーキング力の向上を感じられました。チェンマイ大学の学生と交流する機会も多く設けられていたので、さらに仲良くなり、夕方にタイ式パーベキューやナイトマーケットに連れていってもらったりしました。また、日本語を教えるプログラムでは、授業資料を作成して模擬授業を繰り返した後、日本語クラスで英語とやさしい日本語だけを使って授業をしました。決して安易ではありませんでしたが、教育実習の前にこのような貴重な経験ができたことは今後活かすことができると思います。



M.Aさん

留学先: アメリカ / ノースカロライナ大学ウィルミントン校 (UNCW)
期間: 2024年2月13日~3月24日(41日間)

研修名: アメリカ UNCW語学研修・観察実習 宿泊先: ホームステイ
所属: 教育協働学科 スポーツ科学専攻 費用: 約120万円 奨学金: 16万円受給

留学に行こうと思ったのは、もっと英語が話せるかっこいい漢になりたいと思ったからです。もともと勉強はしていましたが、成長の実感が全然ありませんでした。そんな時に今回の研修のチラシを見て、現地に飛び込んでしまおうと思い、アメリカに行くことを決めました。現地では、とにかく英語三昧でした。授業、食事、何においても英語を聞く・話すの繰り返しだったので、かなりハードな環境でした。しかし、現地の人(学生・ホストファミリー・先生など)たちが優しく、丁寧に話しかけてくれたので、とても有意義で楽しい時間を過ごすことができました。また1人につき1人、現地の学生が付くので、大学だけでなくプライベートでも会話する機会が多くて、とても学ぶことが多かったです。

研修中に意識していたことは、自主的な英語学習です。自分から積極的に現地の人に話しかけて学びを得るようにしました。また、家に帰って、ホームステイ先の家族に今日あったことを話したり、ノートに学んだフレーズをメモしてオンライン英会話で使ってみたりと、アウトプットの時間をしっかり作るようにしていました。

最後に、研修を考えている方へ。僕はこの研修を通して、多くの方に出会い、多くの場所を訪れました。ここでは語りきれないほどの素晴らしい思い出を作ることができましたし、この経験が今の自分の様々なモチベーションになっていると断言できます。そんな人生を変える研修にあなたもぜひ飛び込んでみませんか?



3-1 交換留学 概要・スケジュール



グローバルセンター Web ページ (交換留学)

GLC に気軽に 行ってみよう!



URL <https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/study-abroad/exchange-program/>

交換留学とは

交換留学とは、本学と海外の協定校との学生交流協定に基づき、学生が相互に留学する制度です。留学期間は半年（1 学期）または 1 年（2 学期）で、本学サポートのもと中・長期留学に挑戦することができるプログラムです。本留学制度では、学生交流協定により、本学の授業料を納めることで留学先の授業料が免除されます（授業料以外の各種経費は自己負担です）。また一部制限はありますが、各自の専門に応じて、開講されている科目の中から自由に選んで履修できます。

本学では 14 の国・地域の 38 大学（2024 年 9 月 1 日時点）と学生交流協定を結んでいますので、興味のある大学を探してみてください。各協定校は、グローバルセンターの教員が国別に担当しています。留学に行きたい国や大学が決まったら国別担当教員に相談してみましょう。連絡先やオフィスマナーは、グローバルセンター Web ページまたは外国語学習支援ルーム（GLC）で確認してください。

対象	本学に 1 学期以上在学する学部生・大学院生（正規留学生含む） *非正規留学生及び休学者（応募時点）を除く
募集時期	留学前年度の 10～11 月 *募集は年 1 回のため、オーストラリア留学を検討している学生はスケジュールに留意すること
留学期間	半年（1 学期）または 1 年（2 学期） *1 年間（2 学期）推奨
留学先	本学と学生交流協定を締結している協定校（P.17） *募集している大学については、必ず最新情報を確認してください。
学籍	本学学則に定める「留学」として取り扱う
取得単位	留学先の大学で取得した単位は、学内審査を経て認定されることがある
奨学金	海外留学のための給付型奨学金（文部科学省・日本学生支援機構・民間団体等）の紹介・申請サポート（P.14）
学内選考	申請内容・成績・語学力等に基づき総合的に判断する

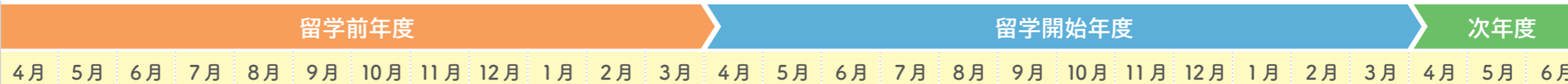
募集～出発までのスケジュール

留学開始時期は年 2 回あります。オーストラリアへの交換留学募集、選考は 1 年以上前に行われます。

共通スケジュール

第 1 回派遣 (8～9 月出発) スケジュール

第 2 回派遣 (2～3 月出発) スケジュール (オーストラリアのみ)



交換留学プレ説明会

Point
国別担当教員・指導教員に相談の上、申請書類を提出しましょう!

募集期間
交換留学募集説明会

学内選考
書類・面接選考
推薦者決定

1 第 1 回オリエンテーション

Point
留学目的を考えて、情報収集を始めましょう!
教育実習・就職活動等も踏まえた留学計画を立てておくことが大切です。
語学学習も余裕をもってスタート!

Point
学内選考は、書類と面接によって行われます。
申請書には第 2 希望まで書くことができます。
(ただし、同じ言語が使用されている大学に限る)。

Point
留学開始までに計 3 回のオリエンテーションがあります。
各オリエンテーション ①②③ で渡航準備について案内しますので、**出席必須!**

第 1 回派遣 (8～9 月出発)

1 協定校への推薦
2 協定校への申請
3 協定校での選考
4 入学許可証受領
★ 留学決定

2 事務手続き
オリエンテーション

3 直前オリエンテーション
海外留学危機管理セミナー

留学期間 (帰国予定時期)

- ・半年間 (同年度 (留学開始年度) 12 月～3 月)
- ・1 年間 (次年度 5 月～9 月)

第 2 回派遣 (2～3 月出発)

1 協定校への推薦
2 協定校への申請
3 協定校での選考
4 入学許可証受領
★ 留学決定

2 事務手続き
オリエンテーション

3 直前オリエンテーション
海外留学危機管理セミナー

- 留学準備 (一例)**
- 奨学金申請
 - ビザ申請
 - 航空券手配
 - 留学先大学への申請 (授業登録・滞在先手配等)
 - 予防接種
 - 危機管理サポート・海外旅行保険への加入
 - 学内手続き (誓約書・留学願提出等)
 - 在留届提出
- 等

留学期間 (帰国予定時期)

- ・半年間 (次年度 6 月まで)
- ・1 年間 (次年度 10 月まで)



3-3 交換留学 体験談

K.Aさん

留学先：アメリカ / ノースカロライナ大学ウィルミントン校
期間：2023年8月～2024年5月（10か月）

所属：学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース（2020年4月入学 / 2025年3月卒業） 住居：学生寮
費用：約270万円（往復航空運賃・住居費・食費・危機管理サポート及び海外旅行保険料等） 奨学金：185万円受給

ウィルミントンでの274日間の交換留学は、1日1日が濃密で充実したものでした。楽しい瞬間だけでなく、辛いことや大変なことも多く経験しました。そうしたすべてを含め、異文化の中でマイノリティとして過ごすことで、多様な価値観に触れる貴重な機会となり、大きな成長を実感できました。また、現地の学生や留学生仲間との絆を深め、日々の交流や旅行を通してかけがえのない思い出も築くことができました。

授業では、言語学や教育心理学に加え、日本では馴染みのないリーダーシップ論も学び、教員としての視野や能力をさらに広げることができました。また、日本語を学ぶ現地の学生との交流を通じて日本語教育にも関心が芽生え、今では日本語教育にも精通した「最強の英語教師」を目指しています。勇気を出して一歩踏み出せば、最高の景色が待っているかもしれません。魅力あふれる交換留学、ぜひ興味のある方は挑戦してみてください！



F.Yさん

留学先：韓国 / 梨花女子大学
期間：2023年9月～2024年6月（10か月）

所属：学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース（2020年4月入学 / 2026年3月卒業予定） 住居：学生寮
費用：約160万円（往復航空運賃・住居費・食費・危機管理サポート及び海外旅行保険料等） 奨学金：受給なし

私が梨花女子大学に留学したのは、まさに自分の世界を広げるための冒険でした。私が留学を志したきっかけは、自分の視野を広げ、教職だけでなく将来の選択肢を増やすことでした。独学で勉強していた韓国語の向上を目指し、さらにマーケティングに興味があったため、経営学部のある梨花女子大学を選びました。この留学が私の成長のきっかけとなることを期待していました。

留学生活は、想像以上の発見と出会いに満ちていました。美しいキャンパスはフランスの建築家が設計したもので、まるで現代美術館のようでした。開放的な雰囲気の中で多くの観光客が訪れ、国際色豊かな異文化交流が活発でした。また、大学の PEACE BUDDY 制度を通じて、現地の学生と留学生が5～6人のグループを作り、食事や観光を楽しむ機会がありました。この制度を通じて、現地の学生との交流はもちろん、他の留



学生とも深い絆を築くことができました。特に、韓国の文化や習慣を学びながら、彼らと一緒に過ごす時間は非常に充実していました。授業では、自分の意見を求められる場面が多く、最初は緊張しましたが、次第に自分の考えをしっかりと伝える重要性を学びました。様々な国の学生との意見交換を通じて、多様な視点を理解し、広い視野を持つ力が身につきました。

この留学を経て、自分の意見を相手に伝える力や異なる文化を理解する力が大きく成長しました。留学は自己肯定感を高めるだけでなく、未来への自信も与えてくれました。これから留学を考えている方には、挑戦を恐れず、一歩踏み出してほしいと心から願います。異文化との出会いや新たな自分との出会いが待っていることを信じています。あなたの留学が素晴らしい経験となることを願っています。

I.Mさん

留学先：アメリカ / ウェスタンカロライナ大学
期間：2023年8月～2024年5月（10か月）

所属：学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース（2020年4月入学 / 2025年3月卒業） 住居：学生寮
費用：約200万円（往復航空運賃・住居費・食費・危機管理サポート及び海外旅行保険料等） 奨学金：185万円受給

ウェスタンカロライナ大学での交換留学は、多くの発見と成長に満ちた時間でした。他の大学に比べて留学生が少なく、戸惑いや苦労もありましたが、その分、現地の文化に深く触れ、多様な人々と交流することで貴重な経験を積むことができました。

今回の留学で得た最も大きな学びの一つは、「自分らしくいること」の大切さです。日本では他人の目を気にしがちでしたが、アメリカの文化の中では、そうしたプレッシャーから解放され、自然体で過ごせました。最初は人間関係を一から築くことにも不安を感じていましたが、友人や先生方の温かなサポートを受け、少しずつ自信が付き、英語での会話や文化交流を楽しめるようになりました。「他人は他人、自分は自分」という考え方が根付き、自分の軸を確立できたと感じます。

授業も非常に刺激的で、プロジェクトベースの学びを通して、知識を「形にする」楽しさを実感しました。教師を目指す私にとって、様々な授業スタイルを体験できたことは大きな収穫です。特に、現地校を訪問するフィールドワークでは、国によって異なる教育の在り方を学び、自分がどのように教えたいかを考える良い機会になりました。

異文化交流について、国際フェスティバルや日本語クラブで日本文化を紹介する中で、地元の学生の日本に対する強い関心を感じました。そこから、日本語チューターの活動の中で日本語教育に興味を持ち、International Peer Tutor の資格を取得するなど、新たな学びにもつながりました。

私自身、短期留学も経験しましたが、長期留学では人や文化と密に関わり、自分自身の変化を深く実感できます。困難を乗り越えた経験は、今の私に自信と新しい挑戦への原動力を与えてくれたと思います。留学は異文化体験だけでなく、自分自身を再発見する貴重な冒険です。みなさんにもこの素晴らしい経験にぜひ挑戦してほしいと思います。





Q1 交換留学に関する情報はどこで手に入れることができますか。

A1 グローバルセンターのWebページおよび外国語学習支援ルーム(GLC)掲示板に最新の情報を掲載しています。特に、毎年10月頃に開催する交換留学募集説明会の案内は、9月頃Live Campus Uでお知らせしています。また、GLCでは国際交流係スタッフが随時相談を受け付けています。



Q3 交換留学の費用はどのくらいですか。

A3 協定校と学費相互不徴収の取り決めがあるため、留学先の大学には学費を払う必要はありませんが、住居費(寮費等)、食費、生活費等がかかります。また、協定校によっては、サービス料や施設利用料等を求められる場合があります。出発前には主に航空運賃、ビザ取得代、危機管理サポート及び海外旅行保険料等が必要になります。本ガイドブックP.10~11に、留学経験者が実際にかかった費用を掲載していますので参考にしてください。

Q5 何回生の時に行く人が多いですか。

A5 2回生で応募し3回生前期~後期に留学開始、または3回生で応募し4回生前期~後期に行く人が最も多いです。教員免許の取得をする人は、教育実習の時期との兼ね合いがありますので、各自のタイミングで留学に行くのが一番良いか、教務課に相談したり、先輩たちのロードマップ(本ガイドブックP.8~9)を参考に、早めに計画を立ててください。



Q2 準備にはどのくらい時間がかかりますか。

A2 交換留学開始の1年程前からの準備が必要になります(オーストラリアへの留学の場合は1年半程前から準備が必要です)。交換留学募集説明会を留学前年度の10月頃に開催し、募集を行います。それまでに、どのような留学がしたいのか、どの大学に行きたいのかを考え、その大学の成績要件・語学要件を調べておく必要があります。語学能力試験のスコアは応募時(10月~11月初旬)には既に取得していることが望ましいため、早くから準備を始め、計画的に受験しましょう。

Q4 外国人留学生ですが、交換留学に行くことができますか。

A4 正規留学生として在籍している場合は可能です。ただし、自国籍の学生は受け入れない協定校もありますので、事前に必ず国別担当教員に確認してください。また、奨学金に応募できない場合もありますので注意してください。なお、非正規留学生は対象外です。



Q6 大学院生も交換留学に行くことができますか。

A6 原則可能ですが、協定校によっては大学院生の受け入れをしないところもありますので、事前に国別担当教員に確認してください。

Q7 奨学金の申込みはいつするのですか。

A7 奨学金によって募集時期が異なります。留学先大学への推薦が決定した学生には、本学が取り扱う奨学金について適宜案内します。詳しくは本ガイドブックP.14をご覧ください。

Q8 交換留学をして4年(修業年限*)で卒業できますか。

A8 単位の取得状況によりますが、修業年限で卒業することは難しく、ほとんどの学生が卒業を延ばしています。特に教員免許取得が卒業要件となっている場合は、留学期間分延期になると考えてください。友人と卒業のタイミングがずれるのは勇気があることですが、卒業すれば皆それぞれの人生を歩みます。長い目で見ると、留学で得られるものははるかに大きな価値があるはずです。※自身の所属の修業年限に読み替えてください。

Q10 留学先で今の自分の専攻以外の授業もとれますか。

A10 本学での専攻以外の科目を履修することができます。ただし、交換留学生が履修できる科目については、留学先大学のWebページで調べたり、国別担当教員に問い合わせてください。



Q12 どのように選考されるのですか。

A12 学内選考は、申請書類、面接等によって行われます。語学力はもとより、本学を代表する交換留学生としてふさわしいかどうか、目的意識がはっきりしているか等を総合的にみて判断します。面接は例年11月下旬頃に実施しています。募集要項で日程を確認し、予定を空けておくようにしてください。

Q14 協定校の詳しい資料や情報はどのように入手できますか。

A14 各校、情報量豊富なWebサイトがありますので調べてみてください。



Q9 留学先で取得した単位はすべて認定されますか。

A9 留学先の大学で修得した単位は、本学の単位として認定されることがあります。修得した単位全てが自動的に認められるのではなく、本学の審査を経て決まります。詳しくは本ガイドブックP.16をご覧ください。



Q11 渡航できなかつたり、留学が中止になることはありますか。

A11 本学の派遣基準は、外務省の「海外安全ホームページ」において、危険情報レベル・感染症危険情報レベルが発出なし、または危険レベル1(十分注意してください)の国・地域です。レベル2以上の国・地域については留学中であっても中止することになります。

Q13 留学先大学の求める語学要件を満たしていませんが、応募することはできますか。

A13 学内応募の時点で語学要件を満たしていない場合でも応募は可能です。ただし、留学先大学への推薦までに要件を満たすスコアを取得し、証明書を用意する必要があります。また、同じ大学に募集人数を超える応募がある場合は、語学要件を満たしている者が優先されます。よって、応募までに留学先大学の求めるスコアを取得できるよう、なるべく早く準備を始めることを勧めます。



4-1 留学に関すること

奨学金

海外留学奨学金

交換留学のための奨学金

返済不要の奨学金に申請することができます。留学先大学への推薦が決定した学生に、奨学金に関する情報を案内し、サポートを行っています。多くの奨学金は、家計要件に加え、成績要件を満たすことが申請の条件となっています。1回生の時から本学での勉強も頑張ります。本学が取り扱っている奨学金は以下の通りです。

トビタテ留学! JAPAN 新・日本代表プログラム

文部科学省が、意欲と能力のある全ての日本の大学生等に向けて、海外留学に踏み出す機運を醸成することを目的とし開始したプログラムです。「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」となって、日本の未来を創る人材を育成することを目指すものであり、海外での実践活動を含む留学を支援するものです。毎月定額の奨学金(6~16万円)及び、留学準備金(15~25万円)が支給されます。



トビタテ! 留学 JAPAN
新・日本代表プログラム

URL <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/>

JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣)

日本学生支援機構(JASSO)が実施する奨学金制度です。学生交流協定によって派遣される学生の勉強・研究を支援するため、国が大学を通して支給する奨学金で、毎月定額の奨学金(8~12万円)また、該当者には、渡航支援金(1万円か16万円)が支給されます。学生の経済的支援の一環として、本学が教育プログラムをJASSOに対して申請し、採択されているものです。



JASSO
海外留学支援制度
(協定派遣)

URL https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/haken/index.html

その他民間の奨学金

交換留学を対象とした民間の奨学金があります。応募要件や選考方法はそれぞれ異なりますので、国際交流係まで問い合わせてください。

海外短期研修のための奨学金

海外短期研修では、研修によりJASSO奨学金を受給することができます(成績及び家計要件あり)。毎月定額の奨学金(8~12万円)また、該当者には、渡航支援金(1万円か16万円)が支給されます。詳しくは、オリエンテーションの際に説明します。募集要項を確認し、担当教職員の指示に従って申請してください。

※奨学金に関する情報は頻繁に変わります。
最新情報は国際交流係に確認してください。
※奨学金の支給額は、国・地域によって異なります。



4-2 留学に関すること

語学試験

GLCに気軽に
行ってみよう!



語学試験

本学の交換留学制度を利用して留学する場合は、留学先への申請(ノミネーション)時に留学先大学が求める語学要件を満たす必要があります。また学内選考でも語学力は重要な判断基準となります。留学に応募する際に申請書に語学スコアを記載できるよう、交換留学を考えている場合は早めに対策をはじめ、語学能力試験を受験してください。

外国語支援ルーム(GLC)では各種検定のテキストを揃えています。貸出も行っていますので、ぜひ利用してください。また、外国語チャットやネイティブ英語教員による個別指導も活用しましょう。まずはGLCに足を運んでください!

【英語試験】

英語の語学要件となっている英語試験には主にIELTSとTOEFL iBT®があります。どちらも4技能で、英検に比べてライティングやスピーキングの分量が多いことが特徴です。各大学、どちらのスコアも受け付けていることがほとんどですので、希望する留学先が提示するスコアを確認しましょう。

	IELTS (アイエルツ)	TOEFL iBT (トーフル アイビーティー)
概要	IELTSは英語圏での留学や就労・移住のためのテストで、140余りの国々において10,000以上の教育機関や政府機関等で認定されている。近年TOEFLと並ぶ国際的な英語力判定試験として、日本でも受験者が増えている。留学目的のアカデミック・モジュールと、就労・移住のためのジェネラル・モジュールがある。	TOEFL iBT®はアカデミック領域における4技能を総合的に測定するテスト。どれだけ英語を「知っているか」ではなく、「使えるか」が問われる。海外の大学・大学院の授業で、講義やディスカッション、クラスメートや教授との会話や課題のエッセイ等に取り組みするための基礎的な語彙・知識・英語運用スキルが身につく。
スコア	1.0~9.0 (0.5ポイント刻み)	0~120 (1ポイント刻み)
形式	ペーパー版またはコンピューター版	コンピューター版
試験実施頻度	ペーパー版は週に2回程度。コンピューター版はほぼ毎日。	年間50日、80回以上(土・日開催、平日の実施なし)
受験料	約25,400円~27,500円(団体による)	US \$245
テスト団体	<ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人日本英語検定協会 https://www.eiken.or.jp/ielts/ ●IDP https://ieltsjapan.com/japan ●一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF) https://jsaf-ieltsjapan.com/ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ETS Japan https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/

※2024年12月時点の情報

【英語以外の試験】

各大学が求める試験とスコアを確認し、早めに準備を始めてください。特に、試験によっては年に数回しか受験できないものや、成績表発行にかなりの日数がかかるものもあるため、ノミネーションに間に合うように計画を立てて受験しましょう。

言語	主なテスト	テスト団体
韓国語	韓国語能力試験(TOPIC)	●公益財団法人韓国教育財団 https://www.kref.or.jp/topik/
	漢語水平考試(HSK)	●HSK日本実施委員会 https://www.hskj.jp/
中国語	華語文能力測驗(TOCFL)	●日本台湾教育センター https://tecj.tku.edu.tw/jp/
	中国語検定試験	●一般財団法人日本中国語検定協会 https://www.chuken.gr.jp/
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	●公益財団法人ドイツ語学文学振興会 https://www.dokken.or.jp/
フランス語	実用フランス語技能検定試験	●公益財団法人フランス語教育振興協会 https://apefdapf.org/

★CEFR(セファール)について★

CEFR(Common European Framework of Reference for Languages)とは「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠」のことで、言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることが出来る国際標準です。CEFRの等級はA1、A2、B1、B2、C1、C2の6段階に分かれており、多くの協定校がCEFR B2レベル(英語の場合、英検準1級相当)を要件としています。詳細なスコアは、国別担当教員に確認してください。

4-3 留学に関すること

学籍・単位 / 教育実習 / 就職活動

5 学生交流協定校

(2024年9月1日現在)

学籍・単位

【学籍・単位に関する問い合わせ先】

柏原キャンパス 教務課教務係（事務局棟3階） TEL 072-978-3545 E-mail kyokikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp	天王寺キャンパス 天王寺地区総務課学務係（中央館1階） TEL 06-6775-6678 E-mail rnjtg@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
--	---

学籍

交換留学・認定留学においては、留学中は学籍が「留学」になります。本学の授業料を支払う必要はありませんが、在学期間に通算されます。

私費留学においては、留学期間により「休学」するかどうかを自身で選択することになります*。「休学」して留学する場合、本学の授業料の支払いはありませんが、留学期間は在学期間に通算されません。

*休学を考えている場合は、早めに各キャンパスの担当係に問い合わせてください。

単位

留学先の大学で修得した単位は、本学の単位として認定されることがあります。認定を希望する場合は、留学期間終了後原則3か月以内に、留学先の成績証明書（原本）、履修した科目の授業内容と授業時間数がわかる書類等*を揃えて申請する必要があります。留学先で修得した単位が全て自動的に認められるのではなく、本学側の審査を経て、認定されるかが決まります。

*履修した科目の授業内容と授業時間数が分かる書類は、帰国後各自で日本語に訳す必要があります。

教育実習

【教育実習に関する問い合わせ先】

柏原キャンパス 教務課免許・実習係（事務局棟3階） TEL 072-978-3629 E-mail ssg@bur.osaka-kyoiku.ac.jp	天王寺キャンパス 天王寺地区総務課学務係（中央館1階） TEL 06-6775-6678 E-mail rnjtg@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
---	---

教育実習を履修するためには、教育実習参加前年度から所定の参加申請等の手続きを行い、事前指導を受講する必要があります。教育実習参加後には事後指導の受講も必要です。また、教育実習参加前年度までに所定の参加要件の単位を修得していなければなりません。所属する課程・学科・専攻によってスケジュールが異なりますので、自己判断せず、必ず上記の窓口で早めに相談してください。

就職活動

【就職活動に関する問い合わせ先】

柏原キャンパス キャリア支援センター（学生会館2階） TEL 072-978-3307 E-mail shushoku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp	天王寺キャンパス 天王寺地区総務課学務係（中央館1階） TEL 06-6775-6678 E-mail rnjtg@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
---	---

全国的に教員採用試験を3回生から開始する自治体が増えていきます。筆記試験のみ3回生の受験を認める自治体、または二次面接まで3回生を対象に実施する自治体等様々です。教員就職志望者は希望する自治体等の採用試験について情報収集を行い、採用スケジュールを把握しておきましょう。

企業の就職活動準備も卒業・修了前年度の4月から準備を開始する人がほとんどです。留学中であっても志望する企業についてインターネットで情報収集を十分に行い、エントリー（資料請求）しておく必要があります。

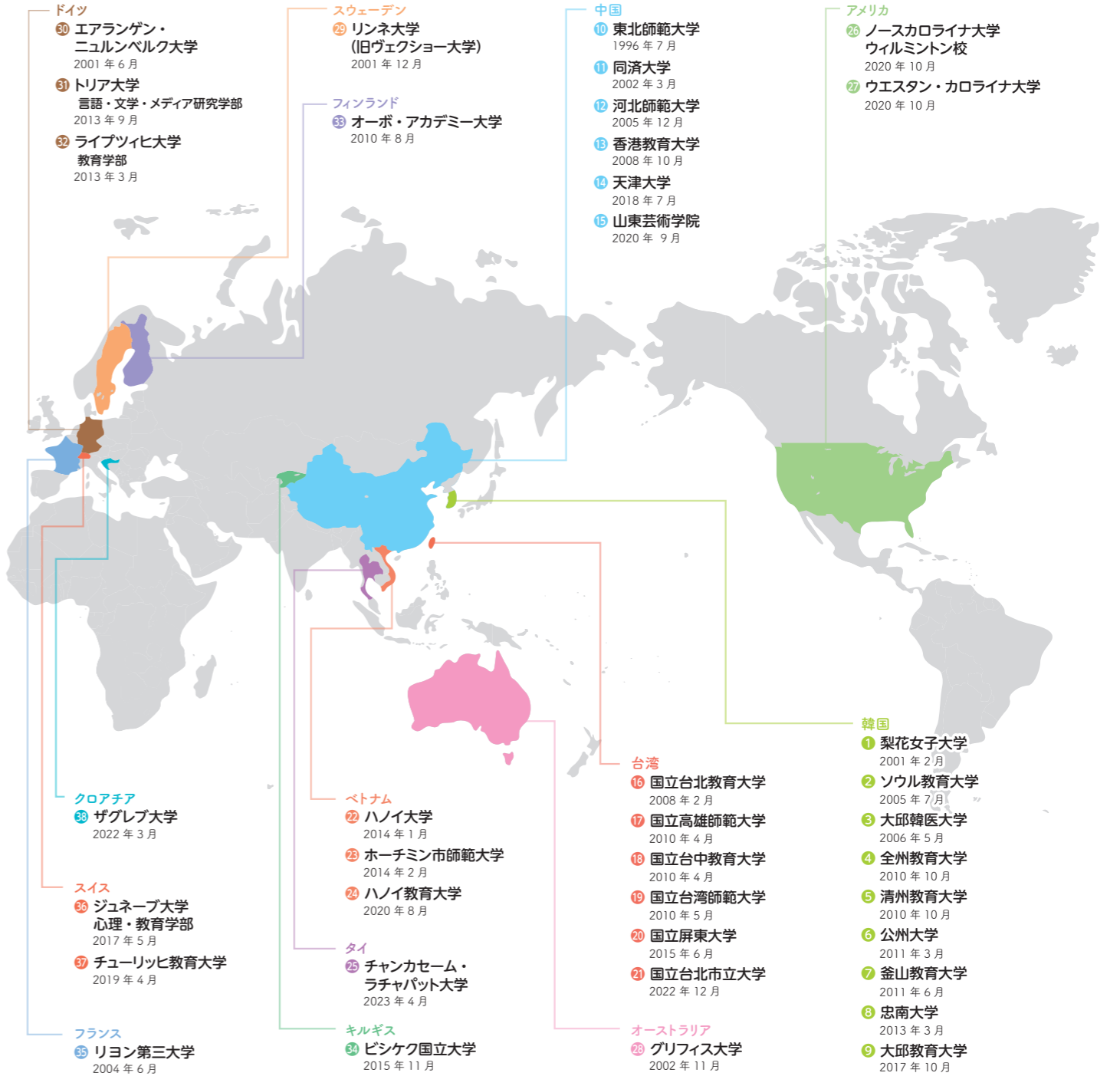
教員・企業・公務員の就職活動における面接指導、ガイダンス等の情報は、留学中でもGoogle Classroomから確認でき、また、面接指導についてもオンラインで受けることが可能です。まずは、留学前に一度キャリア支援センターに相談してみましょう。

Q 留学して留年すると不利になる？

A たとえ留学して留年したとしても、留学で得た経験をどう仕事に活かせるのかをアピールできれば就職活動で不利になることはないと考えられます。逆に「自分探し」等の漠然とした理由は就職先によっては倦厭される可能性があります。将来を見据えた上で留学の目的意識をしっかりと有し、留学に行くようにしましょう。留学中のエピソードをどのように記録し理由付けしていくか、留学を考え始めたら早めにキャリア支援センターに相談に行きましょう。

学生交流協定締結校一覧

14の国・地域 38の海外協定校



※各年月は本学との交流協定締結時期を記載しています。

6 学内でできる国際交流

大阪教育大学では、留学準備や語学力の向上、異文化理解のため、国際交流の機会を提供しています。また、海外から多くの留学生を受け入れており、留学生のサポートを通して自分自身の視野を広げるための国際交流活動に参加することもできます。積極的に参加してみましょう。

外国語学習支援ルーム (Global Learning Community:GLC)

「英語がもっと話せるようになりたい!」「IELTS™、TOEFL® のスコアを伸ばしたい!」、「留学をしたいけど、どんな準備をしたらいいんだろう?」等、学生の外国語学習や留学に関するサポートを行っています。開室時間・場所・連絡先については、GLC Web ページを確認してください。

- 外国語学習教材の貸出
- 自分に合った英語学習プランのアドバイス
- 英語ネイティブ教員による個別指導
- 留学生による外国語チャット(お昼ご飯を持参して気軽に参加できます。)
- 学生スタッフによる国際交流イベント、経験者による留学相談、留学生に対する学習・生活のサポート

URL <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/study/glc/>



GLC Web ページ



留学生 チューター

学内で日本人学生が留学生に学習(主に日本語)や日常生活に関する助言、サポートを行う制度です。日本に対する客観的な視点を養うとともに、異なる文化への理解を深める機会となるでしょう。



レジデント・ アシスタント (Resident Assistant : RA)

日本人学生が国際学生寮に留学生とともに入居し、寮生が安心して生活を送れるよう、日常生活のサポートや交流イベントの企画・運営を行うものです。世界各国から集まった留学生との共同生活を通じて、多様な価値観やコミュニケーション能力を身につけることができます。



国立大学法人
大阪教育大学

大阪教育大学 柏原キャンパス

〒582-8582

大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1

URL <https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



グローバルセンター(事務担当:国際課)

TEL 072-978-3299 Fax:072-978-3554

E-mail intl-exchange@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

URL <https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/>

